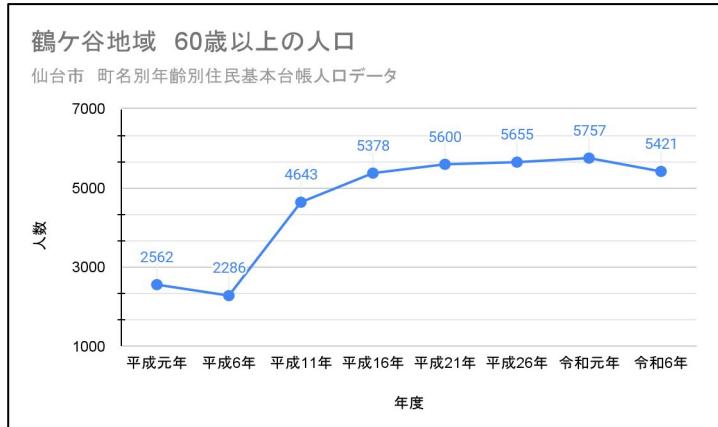


# 地域の輪を広げよう

宮城県仙台第三高等学校 探究31班

## 背景

鶴ヶ谷地区は高齢化社会となっている。高齢化社会は様々な問題を抱えており、認知症や孤独死といった問題はよく話題にもなる。また、それに加え地域の過疎化といった問題もある。



仙台市 町名別年齢別住民基本台帳人口データ

## 調査③

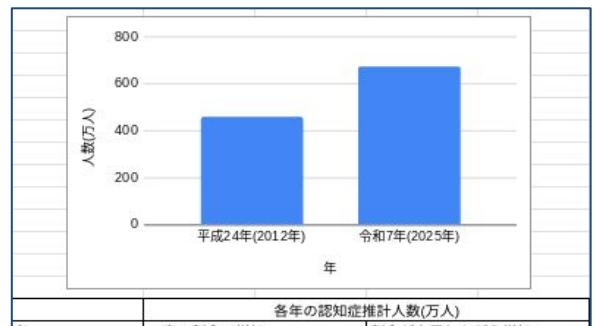
実際どのような効果があるのか

↓地域包括センター様作成資料より

認知症の増加率

一定の割合と  
割合が上昇する場合

100万の差



年	一定の割合で増加	割合が上昇しながら増加	年	一定の割合で増加	割合が上昇しながら増加
平成24年(2012年)	462	15.00%	462	15.00%	
平成27年(2015年)	517	15.20%	525	15.50%	
令和2年(2020年)	602	16.70%	631	17.50%	
令和7年(2025年)	675	18.50%	730	20.00%	
令和12年(2030年)	774	20.20%	830	22.50%	
令和22年(2040年)	802	20.70%	953	24.60%	
令和32年(2050年)	797	21.10%	1016	27.00%	
令和42年(2060年)	850	24.50%	1154	33.30%	

## 調査より

無関心な層を対象とし、より持続的に開催できる、コミュニケーションを中心としたイベント。

## 目的

高齢者の抱える孤独死や認知症などの様々な問題の解決やそれに伴う地域活性化を行う

## 調査①

地域団体の方の話 鶴ヶ谷の現状と高齢者実態

### 三種類の高齢者層

1.元気な層 2.支援が必要な層 3.無関心な層



40%

1元気な層：すでに自らのコミュニティを確立

2支援が必要な層：行政レベルでの対応

3無関心な層：持病等で満足に活動できない

そもそも地域の活動に関心がない

→3の層には...

緊急時に対応してくれる人のつながりや施設が著しく少ない

## 考察①

どちらにも属さない無関心な層を対象にして、イベントを行う

→高齢者のコミュニティ形成が孤独死や認知症などの

様々な問題の解決につながる

## 調査②

高齢者大学 副理事のお話

地域活性化にも様々な形があり、自分達が自ら社会に飛び込むプッシュ型と自分達の輪の中に人を呼び込むプル型の2つに大きく分類される。

→その中で自分達が目指すのはプル型

## 計画

### 2つのアプローチ

#### ベンチを使った コミュニティ形成

ベンチは人が集まる場所  
→居場所になる

#### どんな場所？

ひと呼吸つきながら地域の方が  
集まってゆっくりと過ごせる居場  
所

近くの施設にも協力していただき、  
地域の方が集まれる場所を作  
る

#### 講話を中心としたイベント

→呼び込みを目的としたイベント

・健康系の講話

→仙台福祉協議会の方が手  
伝ってくれる

・防犯系の講話

→地域安全教室講師派遣事業  
について、という仙台市の事業  
がある

## 今後の展望

イベントを実行するために...

1 地域の高齢者や飲食店に広報活動を行う

2 イベントの開催

3 改善案を考案 + 改善案の実施(引き継ぎ)

広報活動・イベントの開催は、地域包括支援センター様をはじめとした、協力してくださる団体様と共同して行う



## 最終的には...

高齢化が進んでいるこの日本で、鶴ヶ谷地域と同じようにコミュニティの減少や地域活性化が問題・課題となっている地域の良い前例になる